

登録コード	F9000290	開講年度	2026			
授業科目	理科指導法基礎Ⅱ				担当教員	小松 寅雄
英文授業名	Introduction to Teaching Method of Science II				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・5時限	対象学生
講義室	繊維1 1 番講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 2 F カリ					
	【2020年度以降カリ対象】繊維科学を基盤とし、現実の課題を解決するために、学際・業際領域を切り拓く創造的能力が身に付いている				⇔	・中学校理科のねらいや指導改善の方向を踏まえた授業づくりについて理解し、教育実習に向けて見通しをもつことができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	○理科指導法Ⅰ等の学びを生かし、4年次教育実習に向け、理科教師として必要とされる基本的な資質、能力の理解及び向上を目指す。 ・新学習指導要領の基本的な考え方及び学習指導要領理科の目標と指導の重点について、授業づくりに具体化していく。 ・授業づくりに向けた教材研究の在り方を、素材の選定や生徒理解、予備実験等を通して、単元に即して学ぶ。 ・授業における教師の生徒へのかかわりの具体を、主体的・対話的で深い学びの視点から学ぶ。 ・指導内容の系統性や理科の見方・考え方を踏まえた指導について、レポートや指導案の作成、模擬授業等を通して考える。 ・互いのレポートや模擬授業を通して、授業の見方も含めた評価の在り方を学ぶ。					
(5)授業計画	○ 以下のテーマにより授業（90分）を展開していく。 第1回：理科指導法Ⅱについてのガイダンス 第2回：私が目指す理科教師像（ワークショップによる交流） 第3回：新学習指導要領「理科」の考え方（新旧学習指導要領の比較） 第4回：生物領域「いろいろな生物とその共通点」（1年）の指導内容の理解 第5回：生物領域の見方・考え方を生かした花のつくりの観察・レポート作成① 第6回：生物領域の見方・考え方を生かした花のつくりの観察・レポート作成② 第7回：理科指導における評価の在り方（三つの柱、自己肯定感等） 第8回：花のつくりレポート発表会（仲間の発表から自身のレポートについて考える） 第9回：「いろいろな生物とその共通点」から学んだことの振り返り 第10回：化学領域「状態変化」（1年）のビデオ視聴（教師のかかわりについて考え） 第11回：主体的・対話的で深い学びにつながる教師の支援について考え合う。 第12回：物理領域「力と運動」（3年）の指導内容の読み取り（模擬授業に向けて） 第13回：物理領域「力と運動」（3年）の予備実験、指導案の作成 第14回：物理領域「力と運動」（3年）の模擬授業の実施と評価・改善 第15回：理科指導法Ⅱを振り返って：教育実習に向けての展望、学生による授業アンケートの実施等					
(6)成績評価の方法	・毎回の振り返りシート（50%）、レポート、学習指導案などの提出物（40%）、授業への取り組み（10%）を基本として総合的に判断する。					
(7)成績評価の基準	規準：概ね達成されていると判断されるレベル ①学習指導要領や教科書をもとに、本時の学習のねらいや目指す生徒の姿を説明できる。 ②「主体的・対話的で深い学び」となる授業づくりに寄せた指導の工夫について説明できる。 ③生徒が主体となるレポートや指導案の作成、模擬授業の実施に努める（学びに向かう力）ことができる。 基準 「やや上にある」：規準点の3点を満たした上で、自身の改善点を説明できる。 「かなり上にある」：規準点の3点を満たした上で、生徒のつまづき等を予想し、修正・改善できる。					
(8)事前事後学習の内容	・中学校学習指導要領解説 理科編に記されている内容を一読し、臨めるとよい。 ・中学校、高校における「理科授業」で心に残ったことなど、体験を語れるとよい。					
(9)履修上の注意	・理科（中）教員免許状取得希望者は、必修である。理科（高）のみ取得希望者は、選択となる。 ・各科の実験や演習が長引いて遅刻してしまうことがある場合は連絡を忘れないこと。					
(10)質問,相談への対応	講義前後、随時対応します。 メール（小松）：komatsu@shinshu-u.ac.jp					
(11)学生へのメッセージ	・気持ちよく学び合いましょう。					
(12)その他						
【教科書】	・指定しない。					
【参考書】	・中学校学習指導要領解説 理科編（文科省） ・高等学校学習指導要領解説 理科編（文科省）					